

青森県地球温暖化防止活動推進センターです。

青森県地球温暖化防止活動推進センターでは、青森県の目標、2010年までに温室効果ガス削減率＝マイナス6.2%（1990年比）を達成するために様々な活動を行っています。

01 「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」第4次報告書が発表されました。

2月2日、地球温暖化の最新の知見をまとめている「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の、第1作業部会がまとめた自然科学的根拠に関する報告書が発表されました。

今後の地球温暖化の取組や国際交渉に大きな影響を与える報告書として、発表前から大きな注目を集めていました。

第4次評価報告書第1作業部会報告書「自然科学的根拠」のポイントをご紹介します。

- 気候システムに温暖化が起きていると断定。
 - 地球温暖化は、人為起源の温室効果ガスが増えたことが原因とほぼ断定。
 - 最近100年間（1906～2005年）に、世界平均気温が長期的に0.74℃上昇。
 - 将来の予測は
 - 環境保全と経済発展が両立する場合
 - ⇒ 気温は約1.8℃（1.1～2.9℃）上昇、海面は18～38cm上昇。
 - 化石エネルギー源を重視する場合
 - ⇒ 気温は約4.0℃（2.4℃～6.4℃）上昇、海面は26～59cm上昇。
- （1980～1999年までと、2090～2099年を比較した予測）

*気象庁 報道発表資料はこちらから http://www.jma.go.jp/jma/press/0702/02b/ipcc_wg1.html
 *緊急メッセージ 報告書の発表を受け、科学者から国民に向けた緊急メッセージが発表されました。
<http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/message.html>

02 観測史上トップクラスの暖冬・・・こんなところに影響がありました。

今年の冬は記録的な暖冬になりました。青森地方気象台によると、2月の平均気温は県内8地点で観測史上最高記録を更新し、11カ所の観測地点で観測史上2番目の暖かさになったとのこと。降雪量も青森市で平年の42%、むつ市で26%など、観測史上最小を記録しました。暖冬の原因として気象庁は、①北極圏が寒気を蓄積・放出する「北極振動」が寒気蓄積期だったこと、②エルニーニョ現象、③地球温暖化を挙げています。

スキー場や雪祭りは雪不足に泣き、軒並み中止や延期・・・

青森市の合浦公園で開催される「青森雪まつり」や三沢市の「三沢しげれるまつり」は雪不足のため中止、冬の弘前城を彩る「弘前城雪灯籠まつり」も少雪で会場内には地肌の露出した部分が目立つ状態でした。

また、五所川原地域の「地吹雪体験ツアー」も今年は雪不足のため、1月には予約の受け付けを打ち切り、氷った滝で作物の豊凶を占う西目屋村の「乳縄ヶ滝氷祭」も滝が氷らず中止になりました。

県内のスキー場でも、雪不足のため、閉店休業状態となったり、1度オープンしたが営業をストップせざるをえなかったり、オープンすらできなかったスキー場もありました。

小売店は冬物商戦の不振にあえぎ・・・

ホームセンターでは、除雪用品や断熱材などの冬の必需品の売り上げが伸びず、釣物用の魚や肉に変わって、アイスクリームやジュースの売り上げが前年を上回りました。また、例年より早く店頭に着物の服が並び、冬物のセールは早まったようです。

暖冬による自然界の異変も・・・

この冬、県内では、渡り鳥、白鳥の飛来数は大幅に増加しました。周辺の田んぼが凍らず稲が豊富にあることが要因のようです。福島県では、逆に飛来数が激減しており、青森県内で越冬した白鳥たちも例年より2週間ほど早くシベリアへ北帰行をはじめました。

また、春を呼ぶ花である「マンサク」や「フクジュソウ」も例年より1ヶ月早く咲きました。

今年は桜の開花も早まると思われ、4月中旬に開花するという民間気象予報会社の予測もあります。大型連休には見頃が終わってしまっているかもしれません。

農業従事者は・・・

気温の高い状態が続く、花芽の生育が早まると、その分霜の被害にさらされやすくなり、果実などの農作物に影響があります。

また、山に蓄えられるはずの雪解け水が少ない上、今後、気候が少雨傾向で推移すると果樹の形や大きさに影響が出るとのことです。そして、雪不足の上、暖かさが続いて、雪が一気に溶け出すと、稲作で最も水を必要とする時期に水不足になることも懸念されます。

「北極振動」とは、

北極と北半球中緯度地域の気圧が逆の傾向で変動する現象のこと。

北極の気圧が年よりも低いと極からの寒気の南下が抑えられ、ユーラシア大陸北部、アメリカ大陸北部を中心に年より気温が高めとなる傾向があり、日本でも暖冬となる。

北極振動より以前から知られている南方振動が海面水温の変動であるエルニーニョ現象と強く関連しているのに対して、北極振動への海面水温の影響は今のところはっきりしていない。

「エルニーニョ現象」とは、

太平洋赤道域の中央部（日付変更線付近）から南米のペルー沿岸にかけての広い海域で海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象。上昇する海面水温は通常で1～2度、最大で5度。発生のメカニズムはまだ解明されていない。

これとは逆に、同じ海域で海面水温が年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象と呼ばれている。ラニーニャが発生すると日本では猛暑、寒冬などの異常気象の原因となる。

03 「不都合な真実」県内でもついに上映決定しました!!

アメリカ合衆国の元副大統領、アル・ゴア氏。地球温暖化によって引き起こされる数々の問題に心を痛めた彼は、人々の意識改革に乗り出すべく、環境問題に関するスライド講演を世界中で開き、地球と人類の危機を訴えてきました。そして、その真摯で、ユーモラスな語り口に共感した製作者が、彼を主人公にした映画の製作を決意。現代人にとって耳の痛い問題を正面から描き、見る人すべてに大きな衝撃と感動を与えるヒューマン・ドキュメンタリーの誕生となりました。そして、この話題の映画の、県内での上映が決定しました。

青森県地球温暖化防止活動推進センター（県センター）では、八戸市にある「八戸フォーラム」での公開に伴い、映画観賞後の感想など、メッセージを募集します。会場に備え付けの用紙にメッセージを記入し、回収ボックスに入

不都合な真実 上映スケジュール

- 青森市：シネマディクト 017-722-2068
 - 八戸市：八戸フォーラム 0178-71-1555
- 両劇場とも4月14日（土）公開
 公式サイトはこちら→<http://www.futsugou.jp/>

れていただくか、後日、県センター宛てにFAX又は郵便でお送り下さい。（送り先は9ページ下）皆さんからいただいたメッセージは、県センターのホームページ等で紹介していきます。

この映画を通して、地球温暖化問題に関心がなかった人や、自分たちには関係がないと思っていた人たちにも、地球温暖化の抱える問題や影響について広く知ってもらい、自分たちの問題として、温暖化防止のための行動につなげていってほしいと思います。

04 アースレンジャーが地球温暖化に関する出前授業を実施しています。

アースレンジャー（青森県地球温暖化防止活動推進員）が県内各地の学校で、ゲストティーチャーとして地球温暖化に関する出前授業を実施しています。これまで、青森市では女鹿沢小学校、平川市では竹館小学校、八戸市では2月と3月に根城小学校にて実施し、4月には是川小学校で実施する予定です。アースレンジャーによる出前授業は無償のボランティアで実施しています。

県センターとアースレンジャーは、皆さんに地球温暖化の現実と、地球の温暖化を防ぐために普段の暮らしの中で自分たちができることを、さまざまな切り口で伝えていきたいと考えています。そのため県センターでは、地球温暖化について解説したパンフレットや、

温暖化の仕組みを学ぶのに役立ついろいろな道具を準備し、アースレンジャーと協力して、地球温暖化について学ぶ子どもたちの学習を支援しています。アースレンジャーによる出前授業は、幼稚園や保育園の子どもの対象にしています。また、子どもたちだけではなく、お父さん、お母さんも一緒に、温暖化について学んで、地球にやさしい取り組みを親子で実践してほしいと考えています。

アースレンジャーによる出前授業について詳しくお知りになりたい方、出前授業をお願いしたいという方はお気軽に県センターまでお問い合わせください。



八戸市立根城小学校



青森市立女鹿沢小学校

05 「イエローレシート」で地球温暖化防止活動を応援してください!

イオン下田ショッピングセンターに設置されている「幸せの黄色いレシート投函BOX」をご存じですか？これは、イオン株式会社の環境・社会貢献活動の一環で行われている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」として設置されているものです。

この投函BOXには、地域で活動する市民団体やNPO法人の名称が記載されています。買い物をした人が、毎月11日の「イオンデー」にショッピングセンター内の店舗で発行される、台紙が黄色いレシートを、店内敷

所に設置された「幸せの黄色いレシート投函BOX」にある、応援したい団体名が書かれたBOXに投函すると、額面金額の1%が、団体の希望する商品としてイオン株式会社から寄付される、という仕組みです。

青森県地球温暖化防止活動推進センターも、ここにBOXを設置しています。

「幸せの黄色いレシート」で、是非、県センターの活動を応援して下さい。



*青森県地球温暖化防止活動推進センター（県センター）についての詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.eco-aomori.jp/>
 この頁の情報についてのお問い合わせは県センター：〒031-0078 八戸市赤市1-10-19 TEL：0178-22-1507 FAX：0178-45-8230
 (Email: info@eco-aomori.jp) までお気軽にどうぞ。